



# [公財] 日本太鼓財団

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

### 会報

発行・編集 2014年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:[info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)



公益財団法人 日本太鼓財団  
会 長 松本 英昭

## 年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、長引く景気の低迷にやや明るい兆しの見えた年でした。また2020年の東京オリンピック開催が決定する明るい話題もありました。

そのような社会状況の中、日本太鼓財団として会員の皆様のご協力を得て、所定の事業を計画通り実施することができました。

3月には、石川県金沢市において第15回ジュニアコンクールを開催、地元石川県の「手取亢龍若鮎組」が見事2回目の優勝に輝きました。なお本大会に出場した台湾チームが第3位、ブラジルチームが特別賞を受賞と海外の太鼓チームのレベルの向上ぶりが目立った大会でした。

5月には、恵まれない子供の支援事業を行っている「キッズドア」の共催を得てチャリティコンサートを東京都港区において内外のオピニオンリーダーを集め開催、来場者から頂戴した募金を全額同会にお渡ししました。7月には、富山県砺波市において全国フェスティバルを開催し、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術に会場に詰めかけた観客から大きな拍手が寄せられました。5年ぶりの東京開催となった全国障害者大会を10月に文京区で開催、皇后陛下の行啓を賜るなかで、日頃の練習の成果を発揮していただきました。10回目となるシニアコンクールも11月に石川県白山市で開催、永年培ってきたシニアならではの円熟味のある演奏を披露し、過去3回準名人を獲得されている富山県の源通博氏が悲願の名人位に輝きました。

財団事業のもう一方の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3

回、支部講習会を4回開催いたしました。参加した老若男女の受講者は、学科に実技にと熱心に受講していました。講習会の内、学校教職員を対象にした教職員研修会は、支部主催により全国で6回開催されました。学校の先生がこうして太鼓の講習会に参加されることは、少子化の中で後継者となるべき子供たちの太鼓活動への新規参入を促す大きなきっかけになるものと期待しております。

国際交流事業としては、前述のジュニアコンクールにブラジル、台湾チームを招聘した他、8月にフランスへ「豊の国ゆふいん源流太鼓」を、10月にミャンマーへ「甲州ろうあ太鼓」を派遣いたしました。特に台湾とは、日本と距離的に近いことから交流が一層進み、台湾での講習会、ジュニアコンクールに講師・審査員を派遣する一方、宮崎県で開催した当財団の全国講習会には、台湾から大勢の受講者が参加しました。また台湾と九州で行われたそれぞれのジュニアコンクールに双方のジュニアチームが出場いたしました。

このように日本太鼓が内外において益々普及する中、新しく迎えた2014年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実させて進めてまいりたいと思っております。

日本の太鼓界を取り巻く昨今の社会環境は、出演機会の減少、地方自治体からの助成金の減少、少子化による後継者不足等大変厳しいものがあります。日本太鼓財団としてこの厳しい社会情勢のなかで財団設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後とも図っていくため支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2014年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

# 第10回日本太鼓シニアコンクール開催 ～文部科学大臣賞を目指して全国より28組119名が参加～

11月24日(日)石川県白山市「松任文化会館」において第10回日本太鼓シニアコンクールが開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い、激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞が下付されております。

10回目を迎えた今回は16都県からの出場者28組119名が参加して開催されました。今大会で栄える名人位となり文部科学大臣賞を手にしたのは富山県から参加の源通博氏(「水舞流越中八幡太鼓保存会」64歳)でした。迫力ある太鼓が観客を魅了する好演でした。

<結果> (敬称略)

## 名人位

源通 博(水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)

## 準名人

古屋 邦夫(御諏訪太鼓保存会・長野)

松本 敏春(加賀の太鼓「無限」・石川)

清水 義雄(下関平家太鼓保存会 勝山会・山口)

## 特別賞

若山 雷門(日本太鼓集団鼓國雷響プロジェクト・岐阜)

野方 嘉孝(大和太鼓保存会・佐賀)

半田 孝夫(和太鼓 幻創・宮城)

野本 敏章(正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会・福岡)

濱口 幸 (業平夢太鼓・三重)

山本 和人(加賀太鼓保存会・石川)

田中 陽子(小松大太鼓 環海・石川)

田坂 敏夫(酒田北前太鼓振興会・山形)



(閉会式の様子)

## 審査委員

(敬称略)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)  
江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)相談役)  
福光松太郎(株福光屋代表取締役社長)  
浅野 義幸(株浅野太鼓楽器店17代当主)  
大場 吉美(金沢学院大学教授)  
長谷川 義(全九州太鼓連合名誉会長)

\*源通新名人から寄稿して頂きましたのでご紹介します。

## シニアコンクール全国大会に出場して

### 水舞流越中八幡太鼓保存会 源通 博

舞台の袖は、出番を待つ演奏者の緊張した雰囲気です。私は、自分の出番がくるまで、28歳の時、初めてバチを手にしてから今日まで36年の出来事が走馬灯のように頭の中で流れていた。いよいよ自分の出番がきた！不思議と冷静だった。

舞台上に立った時、審査員の先生方の顔がはっきりと見え演奏に入った。いつも稽古していた通り、自然と体が動き無事に演奏を終えることができた。審査結果が発表され、栄えある「名人位」そして「文部科学大臣賞」の認定証を塩見理事長より手渡された時は、流石に感極まり頭の中が真っ白になりました。初めて塩見理事長に握手していただいた、あの手の温もりは一生忘れないだろう…。自分の好きな太鼓を打ち始めてから今日まで小言ひとつ言わないで支え続けてくれた家族、そしてわがままを聞いてくれた越中八幡太鼓の同士、そして多くの理解者の方々に感謝の気持ちで一杯です。

これからも、完成という手の届かない目標に向けて太鼓の技を磨き、観る方々に感動を与える太鼓を打ち続けていきたいと思っております。

終わりに、この大会を開催するにあたり、ご尽力いただきました関係各位に深く感謝しお礼を申し上げます。本当に有難うございました。



(表彰式)



(源通新名人の演奏)

## 山形県酒田市で全国講習会を開催

11月9・10日(土日)山形県支部主管による全国講習会を、山形県酒田市の酒田勤労者福祉センターにて実施いたしました。地元山形県をはじめ、全国12都府県から123名が受講しました。

開会式では、財団を代表して塩見理事長、山形県支部より江口支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

2日目はあいにくの雨でしたが、受講生たちは熱心に講習を受けていました。

専門講座の成果発表は、御諏訪太鼓講座、助六太鼓講座、縮太鼓講座の受講生により行われ、各講座の特徴を懸命に表現していました。

(敬称略)

御諏訪太鼓講座	松枝 明美	(長野県)
助六太鼓講座	今泉 豊	(東京都)
縮太鼓講座	長谷川 義	(大分県)
3級基本講座	鈴木 孝喜	
4級基本講座	渡辺徳太郎	
5級基本講座	安江 信寿	

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	4名受験	4名合格	(1名認定)
2級検定	13名受験	13名合格	(8名認定)
3級検定	6名受験	6名合格	
4級検定	15名受験	15名合格	
5級検定	65名受験	65名合格	



(挨拶をする江口支部長)

\*全国講習会を主管して頂いた山形県支部の江口支部長に寄稿して頂きました。

### 日本太鼓全国講習会を終えて

山形県支部 支部長 江口信一郎

山形県で実に16年ぶりの開催となる「第48回日本太鼓全国講習会」が多くの皆様よりご支援とご協力をいただき、無事に終了出来ました事、心より感謝申し上げます。

また、県内外より受講していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。開催にあたり、講座にてご指導いただいた講師の皆様、準備の段階から丁寧にご指導いただいた日本太鼓財団の皆様、そして1年前からの準備等、当日の運営にまで尽力いただいた関係者、スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。

全国講習会が山形県で開催されることとなり、正直な話、期待よりも不安感が先行しながらの準備でしたが、会場も市街地の施設を確保でき、受講者も123名、そして検定の結果は全講座全員合格!という大変喜ばしい結果までいただく事が出来ました。

参加された方々からも「受講してよかった!太鼓楽しい!」「仲間が出来てよかった」等の声も多数聞こえ、講習会を通じて太鼓を学ぶだけでなく、地域を越えた交流が出来てお互いに親睦を深めていただけた事も何よりですし、常日頃より掲げている「太鼓文化の発展と普及」に少しでも貢献できたかなという点も嬉しく思っています。また、山形県支部としても講習会の成功に向かって、各団体が一つにまとまった事も大きな財産となりました。全国講習会を成し遂げたという自信を胸に、各自がもうワンステップ上の太鼓道を目指して精進していく事と確信しております。

最後になりますが、次に開催の講習会が盛大に開催されます事をご祈念申し上げ、全国講習会という素晴らしい機会をいただいた日本太鼓財団の皆様、ご指導いただいた講師の皆様、受講された皆様、お世話になった全ての関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

## 平和島ボートレース場にて太鼓演奏協力

10月19日(土)東京都大田区にある平和島ボートレース場にて「水と音楽の祭典 IN BOAT RACE 平和島」が行われました。財団事業の原資を産み出しているボートレース場から要請を受け、地元大田区より「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」と日本財団関連団体関係者からなる「和太鼓水心会」を派遣し演奏を披露致しました。

イベントでは太鼓演奏以外にも多くの催しが行われ、最高峰の全日本選手権競走が開催されていることもあり、レースの合間に多くのお客様が太鼓演奏を楽しんでいらっしゃいました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニアと和太鼓水心会の合同演奏)

# ミャンマー日本太鼓公演 ～障害者に対する意識向上に貢献～

10月15日(火)から10月20日(日)にかけてミャンマーに、甲州ろうあ太鼓(代表井上直光氏・山梨)を派遣しました。これは2008年のカンボジア公演に続き、日本財団が障害者に対する意識改革と啓蒙活動を行う事業を実施することとなり、障害者の太鼓チームの派遣要請を受け実現したものです。

17日(木)は障害者芸術祭のオープニングセレモニーで演奏を行い、翌日は日本人学校の生徒の前で演奏を行うなど全部で4回の演奏を行いました。今回の公演で、太鼓を通じて障害者の地位向上を訴えるとともに、障害者自身にも意識の向上を図ることができました。

\*以下、出演メンバーの感想文を掲載致します。

「ミャンマー海外公演にて」 代表 井上直光

10月15日から10月20日の6日間、ミャンマーに太鼓演奏のため派遣されました。

10月15日の午後2時半に山梨を出発。しかし中央高速が事故の為渋滞、更に台風上陸で強い雨が降ったこともあり成田のホテルまで6時間かかりました。

10月17日、ミャンマー入国後、障害者芸術祭の会場に入り、オープニングセレモニーと夜間の部2回太鼓演奏をしました。多くのお客様から手を上げてパチパチして頂きました。実行委員会の方は積極的に太鼓を運んでくれ、皆さん心が優しいと感じました。実行委員会の健聴者の方に会い、手話表現はミャンマー地元の手話と、国際手話が混ざっているため、コミュニケーションが取れないと思いましたが、大体通じていたので良かったです。

10月18日の午後からヤンゴン日本人学校の生徒とミャンマーろう学校の子供たちに集まって頂き、5曲太鼓演奏しました。汗がいっぱい流れて大変でした。次はワークショップで、両校の生徒は嬉しそうに太鼓を叩いて、とまらないような感じでした。それを見て私自身も楽しい気持ちになりました。

日本太鼓財団の皆様、色々お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。6日間、本当にありがとうございました。

「ミャンマーに行って」

山口 龍太

出発の日、台風の影響でスケジュールが大幅に変わり、成田から遅れて出発。バンコクで乗り継ぎの予定が、一泊になりました。そしてミャンマーへ移動すると、イベントは予定より遅れて始めると聞いていたはずが、現地では予定通り始めていたので僕は到着してすぐに太鼓セッティングや着替えをしなければならないというハードスケジュールでした。しかし、会場のボランティアスタッフのお陰で大変助かりました。いろいろバタバタしたけれど、最初の演奏は無事に終えたことで安心。夜は1時間の持ち時間、普段ではかなりしんどい演奏プランですがミャンマーでの役目を果たさなければと思うと俄然やる気が出て集中、練習通りの成果を出すことが出来てよかったです。日本人学校には隣接するろう学校の子供たちも大勢来てくれて、太鼓に興味を持ったのか、体験コーナーは大賑わいに。言葉は通じないけれど、身振りや子供たちの手に触れてパチの正しい持ち方、打ち方を教えてあげたりと交流ができて良かったです。

滞在中、ミャンマー料理が思っていたより美味しかったです。特にカレーが一番気に入って何杯も食べてしまいました。お土産の買い物にマーケットに行って、値段交渉で粘って安く買えて楽しかったです。途中で停電になり商売にならない、買い物にならないという雰囲気も面白かったです。時間があまりなくてたくさん買えなかったことは実に心惜しいです。

僕は4回目の海外遠征ですが、海外の障害者の為にあげられることはただ一つ。どんな障害があっても出来ないことはない、努力して力を合わせて頑張れば誰でも出来る、もっと頑張ればいろいろなことが出来るようになる、ということをお太鼓の音と一緒に伝える役目を背負って活動ができることはとても嬉しいと思いました。今回のミャンマーはあっという間の滞在でしたが、とても楽しかったです。ありがとうございました。

## <派遣メンバー>

(敬称略)

甲州ろうあ太鼓：井上直光(代表)、桜木力、  
瀧口寛光、山口龍太、  
狐塚亮、杉山悠美、小野智弘  
(公財)日本太鼓財団：塩見和子(理事長)  
中西由郎(常務理事)  
秋田稔(総務部長)



(障害者芸術祭での演奏の様子)

## 創エネ・あかりパークにて太鼓演奏協力

11月1日(金)当財団理事であり世界的な照明デザイナーである石井幹子氏がプロデュースされた「創エネ・あかりパーク2013」(東京・上野恩賜公園)に太鼓団体を派遣し、イベントに協力しました。「邦楽アカデミー和太鼓大元組」(東京)、「加茂綱村太鼓」(宮城)、「銚子はね太鼓」(千葉)、「助六太鼓保存会」(東京)の4団体を派遣いたしました。会場では最新の光技術を組み合わせた、様々な美しい明りが灯され、太鼓演奏のステージも鮮やかな照明で彩られました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)



(銚子はね太鼓)



(加茂綱村太鼓)



(助六太鼓保存会)

## 太鼓関係者が受賞

太鼓関係者が永年の功績により秋の叙勲等において受賞・表彰されました。心よりお祝い申し上げます。

2013年秋の叙勲 旭日双光章：田中誠一氏(サンフランシスコ太鼓道場代表・米国)

2013年秋の叙勲 旭日小綬章：小坂孫次氏(恵那のまつり太鼓代表・岐阜県支部支部長)

文部科学大臣 地域文化功労者：北海道くしろ蝦夷太鼓保存会(北海道)

山陰中央新報社地域開発賞：景山道隆氏(掛合太鼓保存会・当財団技術委員・島根)



(田中誠一氏)



(小坂孫次氏)



(下段右から2番目景山道隆氏)



(北海道くしろ蝦夷太鼓保存会)

2013.11.15 (金) 釧路新聞

## 第4回台湾太鼓ジュニアコンクール&第6回台湾太鼓フェスティバル開催

11月3日(日)台湾で第4回台湾ジュニアコンクールと第6回台湾太鼓フェスティバルが、台中市に近い彰化縣の員林演藝庁にて開催され、審査委員として当財団より長谷川副会長と塩見理事長が出席しました。完全入れ替え制で行われ、両公演とも満員の盛況で、あわせて2,000名を越える観客の前で開催されました。

台湾ジュニアコンクールには21チーム252名が参加しました。日本の太鼓チームにも引けを取らない力強い演奏に、6名の先生方も身を乗り出して審査をされておりました。

今大会では、昨年1月に行われた第7回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールにおいて準優勝した宮崎県の「轟太鼓道場」と、昨年の第15回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて見事3位となった台湾の「葫蘆墩Smile太鼓團」が全九州と台湾の相互交流のため特別出演し、熱のこもった演奏で観客を魅了していました。

そして、台湾太鼓ジュニアコンクールの結果を受けて優勝チーム「天祥太鼓團」(台中市)が本年3月に福島県郡山市で開催する「第16回日本太鼓ジュニアコンクール」に参加することとなりました。「天祥太鼓團」は台湾太鼓ジュニアコンクールで2011年に続いて2度目の優勝です。また、準優勝チームの「泰山太鼓團」は1月に佐賀県で開催する全九州太鼓ジュニアコンクールに特別出演することとなりました。

前回大会に続き、少年刑務所に入所中の太鼓チーム「虎太鼓」が今年は男女混成チームで参加し、見事な演奏で特別賞を受賞しました。

審査結果は次の通りです。

優勝:天祥太鼓團

第2位:泰山太鼓團

第3位:迦摩瓏太鼓團

特別賞

日本太鼓財団賞:勁太鼓-雷組

日本交流協会賞:虎太鼓

浅野太鼓賞:芳和鼓之夢

台湾演奏家協会賞:南崁安德笙太鼓團

\*虎太鼓は、少年刑務所に入所中の太鼓チーム

### 審査委員

(敬称略)

塩見和子(審査委員長・日本太鼓財団理事長)

長谷川義(日本太鼓財団副会長)

黄瑞豊(台湾爵士鼓王)

周恭平(台北演奏家連盟音楽総監)

佐味祐介(日本交流協会台北事務所副代表)

蔡哲明(國立台灣交響樂團打楽器首席)



(優勝:天祥太鼓團)



(第2位:泰山太鼓團)

第6回となる台湾太鼓フェスティバルは、台湾各地から17チームが参加しました。

公演の最後は100名による合同演奏「台湾慕情」で幕を閉じました。長谷川氏が作曲した作品で、今回が初めての演奏でした。100名全員の息の合った演奏に、観客席から大きな拍手が起こりました。

台湾太鼓協会が2007年に設立された当時の演奏からは考えられないほどの素晴らしい演奏をどのチームも披露されていました。

子供たち中心のチームから年配の皆さんによる太鼓チームまで年齢層も広く、台湾における太鼓が浸透しているのが実感されました。



(フェスティバルでの合同演奏)

## イギリスの太鼓団体が福島・宮城で復興支援の演奏

10月9日(水)から10月15日(火)、イギリスの「影武者太鼓」(代表ジョナサン・カービー氏)が来日し、福島県と宮城県を訪問しました。東北太鼓連合と福島県支部の協力を得て11日に福島県の被災地を視察した後、南相馬市立真野小学校と相馬高校にて慰問演奏を行い、学校で太鼓クラブに所属する生徒と交流しました。



(演奏の様子)

翌12日には復興支援コンサートを福島市立松川小学校にて行い、仮設住宅に住む方々が多く訪れ、「影武者太鼓の力強い情熱ある太鼓演奏に心を打たれた。

元気をもらうことができた。」との言葉が寄せられました。コンサート終了後、仙台に移動し、翌13日は加茂網村太鼓(代表及川文男)主催の国際友好和太鼓祭りに出演し、日本の太鼓団体との交流を深めていました。

影武者太鼓の皆さんは「日本で太鼓演奏を披露することができ誇りに思う」、「自分たちの演奏を通して少しでも元気を届けることができたならうれしい」と感想を述べておられました。

## ジュニアコンクール出場団体決定!

名 称:第16回日本太鼓ジュニアコンクール(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

期 日:2014年3月23日(日) 開場10:00 開演10:30 閉会式終了予定19:00

会 場:郡山市民文化センター(福島県郡山市堤下町1-2) Tel.024-934-2288

入 場 料:前売券 2,000円 当日券2,500円

(チケットぴあにて2月1日より販売開始予定 Tel.0570-02-9999 Pコード:219-876)

\*今回もインターネットにより生中継いたします!遠方で会場にお越しになれない方は、当財団ホームページよりご覧頂けます。

出場団体:55チーム【53チーム(38都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】

道東:北海道釧路江南高等学校蝦夷太鼓部 道央:藤野太鼓保存会 道西:太鼓衆多仲や一門 道南:橋本流みゆき太鼓 道北:和太鼓鼓楽 青森:あそびっ鼓組“遊” 岩手:山口太鼓の会嵐 宮城:利府太鼓 秋田:やまばと太鼓 山形:念珠関辨天太鼓子供会 福島:岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組、山木屋太鼓、田島太鼓龍巳会 茨城:やんさ太鼓保存会 栃木:和太鼓キッズゆりかご 群馬:上州榛東ふるさと太鼓 埼玉:乾武神流川太鼓 千葉:和太鼓風 東京:邦楽アカデミー和太鼓大元組 神奈川:海老名東柏太鼓 新潟:飛燕太鼓振興会 富山:源多良太鼓保存会 石川:輪島・和太鼓虎之介、九谷太鼓若獅子組、和太鼓つばき 福井:ハツ杉太鼓遊心 山梨:県立笛吹高等学校すいれき太鼓部 長野:信濃国松川響岳太鼓子供会 岐阜:各務原太鼓保存会 静岡:伊豆総合高等学校郷土芸能部、飛龍高等学校和太鼓部 愛知:大治太鼓ジュニア 三重:日生学園第2高等学校和太鼓部“葵” 京都:大和の響き・京 大阪:金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響” 兵庫:播州新宮越部太鼓 広島:宇品みなと太鼓 島根:掛合太鼓ジュニア 香川:和太鼓集団夢幻の会子ども太鼓 山口:下関平家太鼓保存会勝山会 福岡:二丈絆太鼓、二丈太鼓「恬」 佐賀:不知火太鼓、大和太鼓保存会鼓天童子 長崎:おおむら太鼓連くじら太鼓 熊本:熊本市立必由館高等学校和太鼓部、菊陽武蔵剣豪太鼓、代継太鼓ジュニア 大分:ZENKAI太鼓「和」 宮崎:太鼓研修センター「響」、串間くるみ太鼓 鹿児島:火の神乙女太鼓爽、山川ツマベニ少年太鼓

ブラジル:飛翔太鼓(第6回ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

台湾:天祥太鼓團(第4回台湾太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

特別出演:手取亢龍若鮎組(第15回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

\*大会規定により、支部予選で21チーム以上の参加があった場合は2チーム、31チーム以上の場合は3チームが出場できます。これにより、石川・熊本から3チーム、静岡・福岡・佐賀・宮崎・鹿児島島の各支部から2チーム、また、大会開催地の福島県支部からは3チームが参加します。

なお、今回不参加の支部は奈良・岡山・鳥取・徳島・沖縄の5支部です。

## 事務局だより

### 2014年度事業予定

正式には、3月の当財団の理事会、評議員会を経て決定いたしますが、取り急ぎ新年度の予定を記載しますので、ご参考下さい。\*各種事業のお問い合わせは財団事務局まで！HPでも情報を随時更新しています。

公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

メール: info@nippon-taiko.or.jp HP: <http://www.nippon-taiko.or.jp>

#### ■第18回日本太鼓チャリティコンサート

期日:2014年5月30日(金)

場所:草月ホール(東京都港区)

#### ■第18回日本太鼓全国フェスティバル

期日:2014年7月6日(日)

場所:奥州市文化会館Zホール(岩手県奥州市)

#### ■第16回日本太鼓全国障害者大会

期日:2014年10月5日(日)

場所:大東市立総合文化センターサーティーホール  
(大阪府大東市)

#### ■第11回日本太鼓シニアコンクール

期日:2014年11月23日(日)

場所:津幡町文化会館「シグナス」(石川県津幡町)

#### ■第17回日本太鼓ジュニアコンクール

期日:2015年3月22日(日)

場所:ホクト文化ホール(長野県長野市)

#### ■第50回日本太鼓全国講習会

期日:2014年6月21・22日(土日)

場所:身延町総合文化会館(山梨県身延町)

#### ■第51回日本太鼓全国講習会

期日:2014年9月13・14日(土日)

場所:片平公民館(福島県郡山市)

#### ■第52回日本太鼓全国講習会

期日:2015年2月

場所:鹿児島県

#### ■日本太鼓支部講習会(開催予定支部)

北海道、東京都支部

\*開催希望の支部は財団事務局にお問合せ願います。

#### ■海外講習会

台湾(台湾太鼓協会主催)

ブラジル(ブラジル太鼓協会主催)

### 第49回日本太鼓全国講習会(佐賀県佐賀市)

期日:2014年2月22日・23日(土日)

会場:佐賀県北山少年自然の家 佐賀県佐賀市富士町大字関屋字六反田514-1 TEL:0952-57-2321

主催:(公財)日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

(敬称略)

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美(長野県)

秩父屋台囃子講座(複式複打法) 高野 右吉(埼玉県)

縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分県)

申込先:(公財)日本太鼓財団

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

締切:2014年1月31日(金) 当日到着分まで有効

基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 若山 雷門

5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己

お問い合わせ:日本太鼓財団佐賀県支部

担当:池田英博 TEL 090-3190-5616

### 第2回東北太鼓ジュニアコンクール・第22回東北太鼓フェスティバル

東北太鼓連合主催による「第2回東北太鼓ジュニアコンクール」が、東北6県より20団体が参加で行われました。また、あわせて「第22回東北太鼓フェスティバル」が開催されました。

日時:12月22日(日)12:30開場 13:00開演 会場:登米総合体育館「とよま蔵ジウム」(宮城県登米町)

主催:東北太鼓連合

出演団体:20団体 「第24回東北太鼓フェスティバル」には東北6県から代表6団体が出演。

### 第8回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール

「第8回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が1月に開催されます。九州7県より約50チームが参加する予定のほか、11月に行われた台湾ジュニアコンクールの準優勝チーム「泰山太鼓團」が特別出演します。

日時:2014年1月26日(日)10:00開場 10:30開演 会場:佐賀市文化会館(佐賀県佐賀市)

主催:全九州太鼓連合

出演団体:県予選を勝ち抜いた約50団体と台湾ジュニアコンクールの準優勝チーム「泰山太鼓團」